

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	風しん感染予防対策			事業番号	011-232
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 26 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	・妊娠を希望する女性及びその同居者、妊婦の同居者 ・昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性 101,796人 (R3年7月2日現在)	対象数	単位
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	・妊娠を希望する者等に対して風しん予防接種費用の助成を行うことで、妊娠初期の女性の風しんの罹患を予防し、出生児の先天性風しん症候群の発生を防止することを目的とする。また、単に全例の費用補助を行うのではなく、接種前に風しん抗体検査を経ることにより、予防接種の必要性の低い方への予防接種による健康被害のリスクを回避するとともに、費用助成にかかる経費の軽減を目的とする。 ・抗体保有率を上げ、集団免疫を獲得することを目的として、抗体保有率の低い世代である昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査及び風しん第5期予防接種（抗体が基準値に満たない者のみ）を実施する。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	【妊娠を希望する女性等が対象の事業】 妊娠を希望する女性、その同居者、あるいは妊婦の同居者を対象に、風しんの抗体価が低い者を抽出するための抗体検査を受検者の自己負担なしで保健センターにて実施する。 また、抗体検査の結果、抗体価の低い者に対し、医療機関で実施する予防接種費用の一部を助成する。 【特定の世代の男性に対する追加的対策】 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性は、幼少期に風しんの予防接種を定期接種として公費負担で受ける機会がなく、抗体保有率の低い世代である。 その方々を対象に、協力医療機関等での抗体検査を全額公費負担で実施する。また、抗体検査の結果、抗体価の低い者に対しては、予防接種費用も全額公費負担とする。事業開始当初は平成31年2月から令和4年3月31日までの限定的措置とされていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響もあり受検者数が国の目標を大きく下回ったため、令和7年3月31日まで延長されることとなった。 対象が働き盛りの世代であることをふまえ、国が公益社団法人日本医師会や国民健康保険団体連合会との調整を行い、全国の市町村、地方医師会がそれぞれ上位組織へ委任した上で全国知事会と日本医師会が契約を締結することで、対象者の住所地に関わらず抗体検査と予防接種の費用を公費で負担できることとした。 これにより、対象者は居住自治体から発行されるクーポン券を利用することで、対象の医療機関であれば全国どこでも受診できるほか、職場の健康診断の機会に同時に抗体検査を受けることも可能である。		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 堺市医師会ほか、妊娠を希望する女性等		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標
	風しん患者発生件数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	点検年度
			0	0	0	令和7年度
			0	0	0	0
	当該指標を選定した理由	風しんの患者発生を防ぐことが事業目的であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法	風しんの患者発生をゼロにすることを目標とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	風しん予防接種費用助成件数 【個人予防（接触予防）】	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			1,585	1,600	1,600	
			1,492	1,454		
	達成率	94%	91%			
当該指標を選定した理由	被接種者数の増加がすなわち抗体保有者の増加であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績値を参考に設定。					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	風しん感染予防対策	事業番号	011-232
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	79,804	84,525	110,437	47,549	63,474
13 財源内訳					
国支出金	22,051	20,843	38,188	14,056	22,085
府支出金	6,186	5,873	6,105	5,894	5,791
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	51,567	57,809	66,144	27,599	35,598
14 人件費 (b)	9,080	9,270	9,270	0	0
15 年間経費(c)=(a)+(b)	88,884	93,795	119,707	47,549	63,474

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R3	決算	39,725	21,207			R3	決算	61	47	
16 事業費内訳	風しん予防接種委託料	R4	予算	48,576	26,013	受診票等印刷製本費	R4	予算	54	27	
		R3	決算	532	266		医師報酬	R3	決算	0	0
風しん予防接種助成金	R4	予算	572	286	会計年度任用職員雇用経費	R4		予算	56	28	
	R3	決算	789	434		R3	決算	0	0		
風しん抗体検査等手数料	R4	予算	955	447	市民向け配付物郵送料	R4	予算	1,980	990		
	R3	決算	1,663	866		R3	決算				
MRワクチン購入費	R4	予算	6,949	3,475	MRワクチン購入費	R4	予算				
	R3	決算	4,779	4,779		R3	決算				
		R4	予算	4,332	4,332	R4	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 風しん予防接種費用助成	件	1,492	1,454
② 上記①にかかる年間経費	千円	11,939	11,815
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	8,002	8,126

備考 (算出についての説明等) ②は風しん予防接種費用助成にかかる委託料と助成金の合計

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 予防接種費用の助成については、単価の積算のほとんどが診療報酬に基づき上にワクチンの市場価格に左右される。令和3年度については、風しん単抗原ワクチンの価格が上がったため当該ワクチン助成1件あたりの経費が高くなっており、前年度と比較すると費用対効果は低下している。一方で、予防接種要件に抗体価の基準を設けていることで、真に必要性がある方へ費用助成を行うことができ、費用対効果を高めている。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 風しんの予防接種では、1回の接種で95%以上の人が抗体を獲得すると言われている。検査を実施し抗体価の低い市民に積極的勧奨を行ってワクチン接種につなげていくことで、確実に抗体保有率を上昇させることができるため、風しんの感染予防に寄与している。